

特集

第十九回 通常総代会

第一回地区別懇談会Q&A

JAさっぽろ新役員紹介

第十九回 通常総代会

JAさっぽろ第十九回通常総代会が六月三十日(金)午後二時より共済ホールにて開催されました。総代出席者は、本人出席二八七名、書面議決二九〇名、委任状五名の合計五八二名。過去十年で最も多くの方にご来場いただき、以下の次第に沿って進められました。



第十九回 通常総代会 次第

- 一、開会
- 二、JA綱領唱和
- 三、代表理事組合長挨拶
- 四、来賓祝辞
- 五、議長選出
- 六、書記の指名
- 七、議案審議
- 八、決議案上程・採択
- 九、閉会

代表理事組合長挨拶より

平成二十八年の農業情勢は、TPPの問題や農協改革など、激動の一年でありました。

TPPについては、昨年十二月に関連法案が可決されましたが、アメリカの新政権が脱退を表明し、発効は事実上困難となりましたが、一方では、欧州連合(EU)とのEPA交渉、中国を中心とした東アジア地域とのRセツプ、更にはアメリカとの二国間協定など、国際貿易交渉の加速化が懸念され予断を許さない状況にあります。

特に、EUとのEPA交渉については、情報開示が十分でない中で、交渉が断絶を迎えております。

ドイツで開催される日本とEU首脳会談において、安倍首相の政治判断で一気に交渉決着の可能性が高まってきたとの見方もございます。

JAグループは組織一体となって、農畜産物の重要品目の再生産が可能となるよう、必要な国境措置を確保するよう強く求めているところでございます。

一方、農協改革につきましても、昨年



▲ 出向 藤田 彦彦 組合長
ご挨拶をいただきました。代表理事組合長挨拶。

四月に改正農協法が施行されました。

直面する課題として、平成三十一年度からの公認会計士監査、准組合員の事業利用規制、そして信用事業の譲渡・代理店化などが挙げられます。政府、規制改革推進会議より現場の実態を無視した、到底容認できない提言もあります。

こうした「協同組合」の理念をも揺るがすような動きに対して、国民的な理解を得るためにも、第二十八回JA北海道大会で決議した、北海道五五〇万人と共に創る「力強い農業」の実現にむけた取り組みを、加速させる必要があるものと認識するところでございます。

さて、昨年の地域農業は、融雪も早く、春耕作業も比較的順調に進みました。しかしながら、六月の天候不順に加えて、八月以降過去に例のない、四つの台風の上陸・接近など、全道各地に甚大な被害をもたらしました。当地に於いても、一部冠水、作物の倒伏が発生いたしました。

主要品目の玉葱は「昨年」に続いて良好な作柄であり、葉物野菜を中心とした蔬菜では、各産地での凶作や台風の影響により産地リレーが正常に回らず、全般的に高値で推移しました。

地域差や作物による差はあったものの、作柄・価格共に概ね順調な出来秋であったと思います。改めて、生産者皆さんのご努力に敬意を表するところでございます。

こうした情勢を踏まえて、地域に根ざし、組合員の皆さんに向き合う事業展開

を図るため、身近な統括支店を核として、組合員・地域住民・農協職員が一体となった、協同活動に取り組んでまいりました。

地域役員・女性部・青年部・生産部会の方々の協力の下に、それぞれ地域の特徴を生かした多彩な企画で、札幌農業のPRと食農教育を目的に組合員の皆さんと一緒に汗を流してまいりました。

既に体験農園・体験学習はスタートしておりますが、今年も更に充実した内容で展開できるものと思っております。

また内におつては、職員教育の柱としてCS改善活動を実施いたしております。この活動は、組合員、利用者満足度の向上を目指すものです。平成二十六年から段階的に導入をしてまいりましたが、この改善活動は利用者ニーズの多様化、あるいは価値観の変化の中で、到達点の無い、限らない取り組みでございますが、JAさっぽろの統一した文化・風土を構築してまいりたいと思っております。

各事業部門の取り組みにつきまして、地区別懇談会において詳しくご報告申し上げます。改めてその一端を申し上げます。相談事業では、昨年十月より『よろずサポート相談員制度』を新設、各支店に十九名を配置いたしました。

資産の運用、相続・遺言、税対策等々、約半年間で七十九件の具体的な相談をいただいております。今後とも組織を挙げてサポートしてまいります。

また、購買事業におきましては、各

種奨励施策の拡充を図り、生産者のコスト低減と利用率の向上に努めてまいりました。

信用事業におきましては、長年大きな通過点として掲げておりました、貯金期末残高三〇〇〇億円の目標を年度末三〇二・五億円と計画を二年前倒して達成させていただきました。引き続き次の目標に向かって、組合員皆さんのニーズと信頼に沿った金融サービスに努めてまいります。

これらの事業推進により、平成二十八年度の事業収支はマイナス金利政策の影響もあり、事業計画は達成出来たものの、過去最高益であった昨年に比べ、残念ながら減収、減益となり、事業総利益は前年対比九三・五%にとどまりました。

事業利益では、事業管理費の節減に努める一方、今後想定されます重要な課題を勘案いたしまして、将来に備え、引当金の積み増しを行ない、一層の健全化を図ることいたしました。

これらにより、前年の数値には届きませんでした。最終的には、事業計画を上回る二・七億円の事業利益を確保することができました。

当期末処分剰余金は、六九二、四九三千円でございます。

これもひとえに、組合員の皆さんのご利用、ご支援の賜物であり、重ねてお礼と感謝を申し上げます。昨年に引き続き出資配当を二〇%といたしました剰余金処分案をご提案申し上げます。

さて、新年度にあたり、当面の課題認識として、いくつかの整理をいたしております。言うまでもなく、運用利回りの低下、共済付加収入の減少など、信用・共済事業の収益の悪化が今後懸念されます。同時に購買事業の手数料水準の低下も想定されるところでございます。こうした収益構造の変化を的確に把握し、様々な視点からコミュニケーションをし、将来に備えていかなければならないものと思っております。

本年も引き続き農業、農協を取り巻きます環境は、尚一層厳しいものと覚悟するところでございますが、組合員皆さんの負託にこたえるべく、積極的に必要な改善・改革を図り、事業を推進してまいりますと共に、お示しをいたしております。平成二十九年の事業計画を確実に実践し、経営の効率化に取り組んでまいります。

また、既にご決定をいただいております。役員定数の削減に伴いまして、本総代会に理事二十一名、監事七名の選任についてお諮りをいたします。従来にも増して、コンパクトでスピード感のある機動的な組織体制作りを目指してまいります。



の地区事務を
めつた。札幌
北村さんに
長武夫さん
▲議長に
橋場だき
いただきました。

第十九回 通常総代会 議案

議案第一号

平成二十八年事業報告、剰余金処分案の承認について

議案第二号

平成二十九年事業計画の設定について

議案第三号

農業経営事業の廃止について

議案第四号

『定款』の一部変更について

議案第五号

『農業経営規程』の廃止について

議案第六号

『宅地等供給事業実施規程』の一部変更について

議案第七号

『役員退職慰労金支給規程』の一部変更について

議案第八号

役員報酬の支給について

議案第九号

退任役員に対する退職慰労金の支給について

議案第十号

役員選任について

議案第十一号

全国農業協同組合連合会が行なう農業経営事業に関する同意について

附帯決議一件

その他決議一件

皆さまにご協力・ご理解をいただき、全て原案通りに可決決定され、午後四時二十七分に閉会いたしました。

平成二十九年 第一回地区別懇談会 Q&A

六月十三日(火)から十五日(木)

をかけ、全十二地区で地区別懇談会を開催いたしました。各懇談会には、常勤役員および各室・部長が二班に分かれて出席し、平成二十八年度の決算事業報告を行った後、ご出席いただいた組合員の皆さまより貴重なご意見をいただきました。



▲手稲地区

◆総務部門

Q 平成三十一年四月より、理事の過半は認定農業者でなくてはならないと法改正されましたが、今回の改選において認定農業者の理事候補者は二名しかいません。認定農業者をどのように確保する考えですか。
(篠路地区)

A 理事構成要件は、実践的能力者を含めて過半であれば良いと改正農協法に記載されています。それでも不足する場合は、法に則り、認定農業者に準ずる者を加える考えであります。

Q 固定資産リスク準備積立金の概要等を説明願いたい。
(夢似地区)

A 当組合が所有する大規模な賃貸施設(月寒中央ビル等)について、将来の修繕・改修の部分等をしつかり手当出来るようにしておく必要があることから、毎年積立をしているものであります。

Q 総代会には書面議決での出席ではなく、本人が議場に出席してもらおうと何か対策を講じるべきではないですか。
(中央地区)

A 総代の本人出席率向上へ向けたい対策として、各統括地区で役員者が出席を促すなどの対策を講じております。

Q 実践的能力者について詳しく説明して欲しい。実践的能力者は農業者でなくても良いのですか。
(中央・豊平地区)

A 理事構成に関する改正農協法に規定する、農畜産物の販売その他の当該農業協同組合が行なう事業または法人の経営に関し実践的な能力を有する者を示しており、当農協が営む事業に精通している人であれば農業者でなくても実践的能力者となります。当組合は、販売・購買・信用・共済・相談事業と幅広く事業を展開しておりますので、非常に広い範囲の実務経験者が対象となります。また、一定規模以上の法人経営者であれば、当組合の事業に関わらず全ての業種が当てはまります。

Q 役員改選にあたり、理事候補者要件としての実践的能力者という記載は必要なのですか。
(豊平地区)

A 理事の構成要件の見直し規定については、経過措置により、平成三十一年四月一日以降最初に招集される通常総代会が終了する時まで



▲篠路地区

り適用となります。したがって今回の改選から新要件を満たしておく必要があります。

Q 組合の事業利益の中から行なっている組合員および職員への還元方法について説明願いたい。
(南地区)

A 出資配当は昨年に引き続き二・〇%としております。また、経済事業において組合員の皆さま

まへご利用を通して各種奨励金による利益の還元を行なっております。また、職員に対しては、期末手当を支給しております。

Q 信用・共済事業での収益をもつと経済事業や生産者に振り向けるべきではありませんか。

(厚別地区)

A 部門別損益において経済事業の赤字分を信用・共済事業で補填している状況です。還元として予約購買奨励金等の見直しを行なっております。

Q 月寒中央ビルを売却する理由を聞かせて欲しい。(西町地区)

A 現在、月寒中央ビルはある一定の収益が出ていますが、竣工から二十二年が経過し、設備関係の大規模改修時期を迎えていることなど、今後収益が悪化する見込みである事から売却する方針といたしました。

Q 月寒中央ビルの売却の進捗等について説明願いたい。

(西町・豊平地区)

A 現在まで数社から引き合いがありました。希望価格に満たないことから売却には至っておりません。今後の不動産市況によっては、少し時間を要することも想定し

ております。

Q 平成二十八年度において、処分した固定資産について教えて欲しい。(西町地区)

A 篠路南倉庫跡地を七千万円で売却しており、六千二百万円程の売却益が出ています。

【子会社関連】

Q 札幌協同振興(株)が計画していた風力発電事業はどのようになりましたか。また、他にも予定している事業計画などはありませんか。(白石地区)

A 開発業者のスタンス、および本店屋上に設置していた試作機の結果等から、事業として難しいと判断し完全に撤退しました。また、別な事業計画についても現段階では考えておりません。

【農協改革関連】

Q 政府が近い将来、農協の信用事業と共済事業を分離する考えを示しているようですが、その対策はありますか。(白石地区)

A 信用事業・共済事業の分離についての動向は不透明です。今後、信用事業を継続する為には信金レベルの体制整備が必要になると

想定していますが、当組合はその基準に到達しており、事業を分離する考えはありません。

【EPA関連】

Q EPA(経済連携協定)の大枠合意が報道されています。TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)に関しては、JAGグループ全体で相当反対運動を行なったと思いますが、EPAについては今後どのような対応をとっていくのですか。(厚別・白石地区)

A TPPに関してはアメリカの離脱により現実的ではなくなりました。アメリカ抜きで交渉をする話もありますが、各国の思惑が違うことから、静観している状況です。EU(ヨーロッパ連合)とのEPAについては、EUは乳製品・豚肉等の関税引き下げ、日本は自動車の関税引き下げを求めて交渉しております。日本はTPPで合意したラインを下回らないとのスタンスですが、各国はそれ以下を求めており、交渉は難航しています。また、TPPに次ぐシニアとなる東アジア地域包括的経済連携(RCEP)を中国が主導しており、日本との主導権争いが激化している状況です。当然、これらについても中央要請をしまいにあります。



▲中央地区

◆経営企画部門

Q 当組合の情報誌「虹のしずく」は読み易く、非常に良い取り組みであると思います。どこに何部配布しているのですか。(厚別地区)

A 「虹のしずく」はJA北海道大会で決議された道民五五〇万人のサポーターづくりに対する当組合の取り組みとして、准組

合員向けに作成したものです。既に、三回発行しており、一回の発行部数は三万五千部であります。

Q バーゼルⅢの規制へ向けて当組合として、どのような準備をしていますか。
(豊平地区)

A 毎年、自己資本比率のシミュレーションを行なっており、バーゼルⅢの完全導入後においても基準を上回る自己資本比率を確保出来る見通しとなっております。

◆**経済部門**

Q 耕作放棄地が増加しておりますが、農協としてどのような対策を考えていますか。(篠路地区)

A 耕作放棄地については高齢化等に伴い、全国的な問題となっており、農地中間管理機構が借り手と貸し手のマッチングを行なうことで、耕作放棄地の解消を進めております。当組合もそれに則した対応を行なっております。

Q 販売取扱高、購買取扱高の平成二十九年計画は平成二十八年度の実績値を下回っています。何故そのような計画なのですか。
(厚別地区)

A 生産者や耕作面積が減少してきている事から前年度を上回る計画を立てにくい状況にあります。平成二十九年年度の計画については、平成二十八年度の販売実績で玉葱が豊作であった事、蔬菜の収量が減少しましたが価格が良かった事等を考慮しております。また、購買取扱高は政府による生産者の所得を増やす指導により、肥料価格が値下がりしている事を考慮した計画となっております。

Q 当地区の生産物をネット通販で中国等に高値で販売するようになったことは考えていますか。(白石地区)

A 当組合の生産物はホクレングループで販売しています。外国等に大量に販売する場合、物量の確保が難しい事から当組合では市内を中心にインショップ、相対取引、直売所での販売などで生産者の収入を確保する事を考えております。

Q 札幌黄の種子が例年より入荷が遅れ支障が出たが、その理由について説明願いたい。
(北札幌地区)

A 本店と経済センターの連携不足が原因で、申込が遅れたために支障が出てしまいました。今後はこのような事がないよう、対応してまいります。

【**農業経営**】

Q 農業経営事業の廃止に伴い、それに代わる事業は考えていますか。
(篠路地区)

A 代わる事業ではありませんが、営農指導の一環として、札幌黄の採種については札幌市農業支援センターと協力して継続してまいります。

Q 農業経営事業の廃止に伴い、今まで使用していた機材は当組合で取得しますが、その後の利用方法について聞かせて欲しい。
(北札幌地区)

A 使用出来るものと出来ないものに仕分けをして、使用出来るものについては、売却先を広報誌等で公募したいと考えております。

◆**金融部門**

Q 他金融機関の動向をみると、収益確保のためにカードローン等を入れていた反面、貸出先が自己破産する傾向があるようですが、当組合の状況を教えてください。
(豊平地区)

A 当組合では、カードローンに起因する貸出先の自己破産が増えていることはいけません。

Q 貯金量が増加しているが、運用の動向を教えてください。
(豊平地区)

A 貸出金の他に北海道信連への預入れにより特別配当の奨励等もあり、運用益は確保出来ております。



▲南地区

※プライバシーに関する質問や、過去同様のご質問につきましては割愛させていただきますのでご了承ください。

JAさっぽろ新役員紹介

この度の役員改選に伴い、平成二十九年七月一日から平成三十二年六月末までの三年間、役員を務めます理事・監事をご紹介します。

常勤役員

| 常勤監事 | 常務理事 | 常務理事 | 専務理事 | 代表理事副組合長 | 代表理事組合長 |
|--|---|---|---|--|---|
|  |  |  |  |  |  |
| 新 森 寿幸 員外 (広域) | 新 水嶋 仁光 学識経験者 (広域) | 再 土田 孝夫 学識経験者 (広域) | 昇 砂川 昌勝 学識経験者 (広域) | 新 軽部 幹夫 豊平地区 | 再 藤田 範彦 厚別地区 |

理事

| | | | | | |
|--|---|---|---|--|---|
|  |  |  |  |  |  |
| 再 大畑 裕介 北札幌地区 | 新 嶋 順一 篠路地区 | 再 高見 敏文 篠路地区 | 昇 伊藤 幸一 琴似地区 | 再 菅原 正行 新琴似地区 | 再 目黒 晴夫 中央地区 |
|  |  |  |  |  |  |
| 再 脇屋 佳史 南地区 | 新 寺田 敏則 豊平地区 | 再 奥内 尚史 平岸地区 | 再 松下 信一 厚別地区 | 再 宮口 博幸 白石地区 | 再 浅井 義正 北札幌地区 |

※ 新は新任の役員、再は再任の役員、昇は昇格の役員です。

| | | | |
|---|---|--|---|
|  |  |  |  |
| 新 丹羽 恵子 女性 (広域) | 再 遠藤 多壽子 女性 (広域) | 新 池田 利碩 手稲地区 | 再 齊藤 信明 西町地区 |

監事

代表監事



◎ 宮本 二三男
新琴似地区



◎ 荒井 和哉
南地区



◎ 須合 経一
厚別地区



◎ 細田 克文
白石地区



◎ 高田 裕一
北札幌地区



◎ 高山 正三
琴似地区

新任役員ご挨拶

常勤監事



森 寿幸

この度の役員改選により、常勤監事（員外監事）に就任いたしました。このような大役を仰せつかり身の引き締まる思いでございます。

JAを取り巻く情勢は政府からJA改革が求められているなど厳しいものがございますが、組合員並びに役職員の皆さま方のご指導により、微力ではありますが一生懸命職務を全うしたいと存じますので宜しくお願ひ申し上げます。

皆さま方の益々のご健勝をご祈念申し上げ就任のご挨拶といたします。

代表理事副組合長



軽部 幹夫

この度の役員改選により、去る6月30日に開催されました第19回通常総代会終了後の理事会におきまして、代表理事副組合長に選任され就任いたしました。もとより微力菲才の身であり、その責任の重大さを痛感しております。

昨今の農業、JAを取り巻く情勢はますます不透明さを増し、特に政府は改正農業協同組合法に基づく制度の改革に沿った自主的な取り組みを私たちJAに求めています。

就任いたしました以上は、組合員の皆さまをはじめ、関係各位のご指導をいただきながら、当JAの経営ビジョンであります「信頼されるJA」の実現に向け、役職員一丸となり農協運営に総力を傾注してまいりたいと思います。

理事



嶋 順一

この度、篠路地区組合員の皆さまよりご推挙戴き、理事に就任させて頂きました。

私は、同地区から平成23年7月に監事に就任し、2期6年間に亘りその任を全うするべく微力ながら精一杯務めて参りました。

これからのJAさっぽろは、農協改革論議以降、昨年の農協法改正を受け、「自己改革」を如何に進められるかが大事です。今後、役職員全員で課題意識をしっかりと共有し、より良い農協を築くためにも、私自身

理事としての職務を精一杯遂行する所存であります。今後共、組合員皆さまのご指導ご鞭撻を切にお願い申し上げます、就任の挨拶といたします。

常務理事



水嶋 仁光

この度、信用担当理事にご推挙いただき就任いたしました。このような大役を仰せつかるには、誠に微力ではございますが、組合員並びに役職員の皆さまのご助言・ご協力を仰ぎながら業務に邁進していく決意でございます。

農業、農協を取り巻く情勢は一層厳しさを増しておりますが、組合長をはじめ役職員一丸となって、より組合員の皆さまのご期待に応えられるJAを目指してまいりたいと考えております。皆さま方の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます、就任のご挨拶とさせていただきます。

新任役員ご挨拶

監事



高山 正三

この度、琴似地区の役員推選委員の方々のご推挙により監事に就任する事になりました、高山正三でございます。

私は、平成25年11月に発寒地区の総代に就任し現在に至っており、今般監事にとのお話をいただきました。なにぶん経験が浅く、知識不足等もございますが、これから3年間の任期中、自分自身の知識を高め、役職員をはじめ、関係者皆さまのご指導、ご鞭撻をいただきながら、ご迷惑をおかけしないよう重責を果たしていきたいと思ひます。よろしくお願ひ申し上げます。監事就任にあたり、簡単ではありますが、ご挨拶とさせていただきます。

理事



寺田 敏則

この度の役員改選にあたり、理事という重責を拝受いたしました。ご推挙いただきました地域の皆さまのご期待に沿えるよう、努力精進してまいります。

我々を取り巻く昨今の情勢は、農政・農協改革など、大変厳しくなっておりますが、「社稷」という言葉が示すように、国家の根幹をなす農業という土台に携わる私たち一人ひとりが様々な目線を持って取り組んでいきたいと思ひます。

甚だ若輩者ではありますが、JAさっぽろのさらなる発展に邁進してまいります。組合員皆さまのご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願ひ申し上げます。

監事



細田 克文

この度の役員改選にあたり、白石地区からのご推挙によりまして監事という大役をお受けし過般就任いたしました。

現在、農業を取り巻く情勢は国内外種々の影響により先行きの読めない状況が更に増しており、併せて農協組織も大きく変革を求められている中であり、責任の重さを痛感しているところでございます。

これまで農協職員として長きに渡り組織に育てていただきましたことから、以後監事としての立場で生かしてまいりたいと考えております。

誠に微力ではございますが、直一層のご理解とご協力をお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

理事



池田 利碩

この度、手稲地区の皆さまにご推挙いただき、理事に就任する事になりました池田でございます。

今、農業や農協を取り巻く環境は大変厳しい時期を迎えております。諸先輩方、組合員の皆さま、職員の皆さまのご支援、ご協力をなくして、この局面を乗り切ることにはできないものと考えております。

3年間の任期となりますが、持てる力を尽くしていきたいと思ひますので、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

監事



須合 経一

この度、監事という大役をお引き受けすることとなりました。色々な会合、研修を受ける中で、「監事は理事よりも崇高でなければならない」という言葉をお聞きし、改めて責任の重さを感じ、続けていけるかという心配もしております。しかし、先日の新理事・監事の会合の際に「私もすべてが初めてで」という方がいらっしゃり、少しほっとしています。

まず最初の一年は、組合員、職員、理事、監事の皆さまのご協力を得ながら少しでも監事としてお役に立てるよう研鑽してまいりたいと思ひます。どうぞご指導、ご鞭撻くださいますようお願い申し上げます。

理事



丹羽 恵子

さて、現在地球社会は多くの問題を抱えています。また、人類が生きるのに不可欠な食料問題は、特に深刻度が増しており、その意味からしても農業界からの主張がとて大切とも考えております。

私は、北区でレタス栽培をしておりますが、今後は市農協という大組織の中で近未来の農業全般について研鑽し、そして消費者への配慮を深めた農業について、女性の立場から探求していきたいと思っております。微力ながら誠意を持って務めていく所存でありますので、皆さま方のご指導ご鞭撻のこと、伏してお願ひ申し上げます。



嫌いなことは ここまで続けられない— 漆山奇 あい子

嫌だと思っ暇もなく

西区小別沢、喧騒広がる市街地と同じ札幌とは思えないほどに、のどかな風景が広がる。この地で小松菜を中心に葉物野菜を多く作付けするのが漆崎農園だ。何棟ものハウスが連なる畑の向えには、その日に採れたばかりの野菜が数多く揃う直売所が併設されている。中に入ると、さくらんぼへ出荷する予定の野菜の準備に精を出す漆崎あい子さんが出迎えてくれた。

「ハウスは二十五棟くらいあるだろうか。小松菜、白菜、大根菜…年で三〜四回転は、してるんじゃないかなあ」

漆崎農園では、ご主人の智さんとあい子さん、息子さん夫婦と二人の娘さんを加えた六人で農作業を行なっている。作物のほとんどがハウスでの作付けで、三月から始まる作業が十月中旬まで続き、取材を行なった六月下旬は、出荷のピークを迎えていた。

今年六月の多雨に頭を悩ませた生産者も多い。漆崎さんの作物も例外ではなく、病気が付きやすくなる雨はあまりいらないという。

「今年は天気が不安定でしょう。ハウスの葉ものは、曇りの日の方がぐんと育つの。でもあんまり大きくなりすぎてもいけないから」

聞けば、今の時期には早朝四時頃から夜まで働く日が、休みなく続く。もう長らく続けて体に染み付いた作業とはいえ、体力的にも負担が大きな仕事だ。

「毎日に追われるように仕事をしていたら、嫌だと思っ暇もないからね。でも、嫌いなことだったからこそまでは続けられない」

「いっと思っますよ」

知る人ぞ知る直売所

「四時に起きたら、まず八時くらいまでは直売所の準備をしてそれから本職の作業という感じ」

十年ほど前に始めたという直売所は、四月末から十一月頃までの間営業している。品揃えが豊富になるのは六月頃だが、いつオープンするかという春先の問い合わせに答える形で毎年、早い時期からのオープンになる。来店客のほとんどがリピーターで、基本的に朝並べた商品は、その日のうちにほとんど売れてしまうようだ。

「売れ残りがあれば、次の日に安売りしたりもしますけどね。だいたいなくなっちゃう」

漆崎農園の直売所で面白いのは、会計方法。店員として漆崎さんが店頭で張り付くのは難しいことから、普段は基本的に無人。やって来たお客さんが自分で購入金額を計算して会計箱にお金を入れていく仕組みだ。

「たまたま立ち寄った人なんかは、会計方法がわからないこともあるみたい。メモ紙に買ったものを書いてお金を置いていってくれたりして。信用、信頼し合っ直売所だね」

直売所に並ぶ商品を見渡すと、小松菜やほうれん草といった馴染みの野菜の他にもスーパーマーケットでは見かけないような珍しい野菜が多い。

茎や葉脈がカラフルなスイスチャード（不断草）、プチプチした食感でほんのり塩味を感じるアイスプラント、黒ギャベツ



組合員紹介



▲直売所で出荷の準備。訪れるお客さんと会話を楽しみながら手元に向ける眼差しは真剣。

普段聞きなれない名前の野菜でも、手頃な値段だと試してみたくなる。▶



▲看板が目印の漆崎農園の直売所。無人なことがほとんどなので、訪れるときには小銭が必須。



ともいわれるカーボロネ口、などなど…その年に作る野菜は、漆崎さんがカタログを見ながら、面白そうだと思う野菜を作付けているのだという。

「お客さんにリクエストされることもありますよ。でも種類を増やしすぎると大変だからね。どこに何を植えたかわからなくなっちゃう(笑)」

珍しい野菜には、そのほとんどに食べ方を記したポップが付けられ、初めてでも気軽に手に取れるように工夫されている。この日は、直売所を訪れたお客さんが漆崎さんを見つけて、並んでいる野菜の食べ方を訪ねる様子が頻繁に見られた。「お客さんにはよく食べ方を聞かれるから、私も一回食べてみないとね。娘が色々料理してくれるんですよ」

お客さんの「声」がやりがいい

珍しい野菜を作っては、必ず自分も食べてみる漆崎さんだが、中には口に合わない野菜も。

「パクチーだけは、どうも苦手だったね。でも最近人気があるんでしょう？この前もパクチーを買っていった人が、二日後くらいにまた買いにきたりして。好きな人は好きなんだなあと思ったもの」

直売所に来るお客さんの声は、漆崎さんの励みになり、やりがいに繋がっている。「この前、買っていった野菜がおいしかった」「いつも「ごちそうさま」「また買いに来るからね」。直接言葉を交わす機会もあれば、直売所に置かれたメモ書きでその声を聞くことも。

「やっぱり食べてもらって美味しかったと言われるのが一番嬉しい。一日おきにきてくれるお客さんもあり、喜んでもら

えることが、一番のやりがいかなあ」

取材中、たまたま買い物に訪れた女性客がこの直売所の魅力を感じた。

「何よりも新鮮！一週間に一度は足を運んでいます。葉物は柔らかくて美味しいし、去年は黒サンゴっていうキュウリがすごく美味しかった。今年も楽しみたいです」

お客さんの嬉しい言葉に漆崎さんの表情は一段と和らいだ。

気晴らしもしながら

漆崎さんが最近欠かさずに飲んでいるというのが、ピーツのスムージー。ピーツは日本ではまだ、あまり馴染みがない野菜だが、飲む輪血、と言われるほど栄養価の高い健康野菜だ。ピーツはもちろん漆崎さんの畑で採れたもの。新鮮な生のピーツにリンゴや小松菜などの果物や野菜を加えてミキサーにかける。

「これも娘が作ってくれて飲み始めたの。毎朝起き掛けに一杯飲んでから仕事を始めるのが日課ですよ」

自宅で採れた新鮮な野菜で元気をつけ、忙しく働く日々。そんな中でも、楽しみにしていることもあるようだ。「言うほどのことじゃない」と気恥ずかしそうにしながらも、最後に趣味のことを話してくれた。「民謡はもう三十年くらい続けているの。年数だけ増えて全然上手にならないけれど(笑)仲間が増えるし、農家以外の人も多いから、色んな話題が出て楽しいんですよ。とても良い気晴らしになっています」

お忙しいところ、取材にご協力くださいました漆崎さん、ありがとうございました。

(二〇一七・六・二十九 取材)



手稲山口のブランドカボチャ ホクホクの「大浜みやこ」できました！

今年も手稲山口のブランドカボチャ「大浜みやこ」の出荷が始まりました。例年にはないほどの記録的な6月の雨や、その後の強い日照による実の日焼けなどで出来が心配されていましたが、ホクホクの甘くて美味しいカボチャに仕上がりました。



果実部会では、7月13日（木）に各生産者の圃場検見を実施、翌日から順次収穫作業を開始し、18日（火）には、大浜みやこの検査員を務める池田理事も立会いのもと、規格確認である目揃会を行ないました。

そして、20日（木）には昨年よりも一週間ほど早く、札幌市中央卸売市場で初セリが行なわれ、約100ケース（1ケース10kg）が出荷されました。1箱秀品5玉入り50,000円の最高値が付き、報道関係者も集まるなど、多くの人の注目を集めていました。



▲果実部会のみなさん。全生産者が参加して、圃場検見、目揃会を行ないました。

現在、大浜みやこは、同地区の11戸で生産されており、作付面積は1,050アールほど。育苗から圃場検見、目揃会、糖度検査圃場の中間状況確認まで、全生産者で行なっています。水はけの良い砂地と昼夜の寒暖差を活かした栽培で、糖度が高く粉質に優れているのが特徴です。また収穫は、完熟段階で行なわれています。

今年は、9月中旬頃までに13,000ケース程度の出荷を見込んでいます。



▲ご祝儀価格がついた逸品。セリの前の試食で、味は保証済み！



▲大量のカボチャを並べて、全員で規格を確認します。



▲圃場検見後、それぞれのサンプルを見比べて収穫日を決定。





そ菜部会

最先端の農業技術を視察

そ菜部会（新井伸二部会長）では、6月20日（火）、部会員42名が参加し管外視察研修会を開催しました。

今回訪れたのは、苫小牧市にある株式会社Jファーム。スマートアグリシステムという、オランダ型高度栽培制御システムを利用した植物工場です。日射・風向きなどの天候や温室内の温度・湿度など、数多くのデータを取り込み制御することで、植物の生育に最適な条件を作り出す最先端の技術を使い、ベビーリーフとトマトを通年で出荷しています。説明を受けながら、広大な敷地を周り、最新設備が整った施設を見学しました。

視察後には、千歳鶴酒ミュージアムに立ち寄り試飲を楽しんだ他、サッポロビール園での懇親会で会員相互の親睦を図りました。



毎年恒例、生産者による市場視察実施

7月1日（土）には、札幌市中央卸売市場の視察を行ないました。毎年この時期に開催しているもので、部会員・職員を合わせて30名が参加しました。

丸果札幌青果売場では、午前6時半から各品目のセリが開始され、出荷生産者が販売状況などを確認。また、市場担当者から当日の入荷状況などの説明を受け、意見交換を行なうなど有意義な時間となりました。（川越特派員）



▶JAきたひやま ほうれん草部会の長井部会長（右）に案内していただきました。



7月4日（火）
そ菜部会清田支部

ほうれん草の産地、JAきたひやまを視察

そ菜部会清田支部（三上芳弘支部長）では、部会員12名が参加しJAきたひやま ほうれん草部会の部会長である長井克宜氏圃場の視察を行なう道内視察研修会を開催しました。

当地区同様にほうれん草の産地であるJAきたひやま管内。豊かな自然に配慮したクリーン栽培を実践しているということで、栽培技術等の説明に参加者は熱心に耳を傾けていました。

研修会当日は天候にも恵まれ、とても有意義な道内視察研修会でした。（曾我特派員）





6月16日(金)
資産管理部会手稲支部
青色申告会手稲支部

隣町、小樽の魅力再発見 クルージングではカモメに大接近!

資産管理部会手稲支部(高田信利支部長)・青色申告会手稲支部(三国惇支部長)では、会員39名が参加し合同日帰り研修を開催しました。

今回の視察先は、手稲区の隣街、小樽市。小樽港湾内クルージングでのカモメの餌付けに始まり、にしん御殿でニシンお重の昼食、買物に小樽運河散策、田中酒造亀甲蔵での工場見学と試飲を楽しみ、ほろ酔い気分で最後は新南樽市場へ向かいました。天候にも恵まれ小樽を思う存分満喫し、会員相互の親睦を深めることが出来た研修会でした。(澤田特派員)



◀こんなに近くにカモメが!!



6月20日(火)
女性部豊平支部

初夏の積丹、見て・食べて・買って満足

女性部豊平支部(中向道子支部長)では、部員11名が参加し積丹方面に日帰り研修を実施しました。当日は天候にも恵まれ、食堂うしおにて海鮮丼を堪能した他、水中展望船ニューしゃこたん号に乗り海上散歩を楽しみました。積丹の海の絶景ポイントをめぐり、その美しさに感動しました。余市の人気店、柿崎商店海鮮工房や小樽市内で買い物を楽しみ、お土産いっぱい買い、大満足で帰路に着きました。(池田特派員)



7月13日(木)
女性部新琴似支部

優雅にランチクルーズ 藍染体験で文化学術

女性部新琴似支部(菅原利恵支部長)では、部員11名が参加し伊達・洞爺湖方面に日帰り研修を実施しました。

洞爺湖では、遊覧船「エスポール」に乗船しました。この遊覧船は、ランチクルーズを楽しむことができ、噴火湾特製ホタテとイクラ弁当を食べながら洞爺湖の雄大な自然風景を眺めました。午後には、伊達市の黎明観「藍工房」を訪れ、伊達産藍が原料の藍染体験を行ないました。工房の指導員に教わりながら気軽に藍染ができるとあって、参加者の皆さんからも、とても好評でした。

途中、時間がなくなってしまい、予定していた旧大滝村のきのこ王国へ寄るのを断念するというアクシデントもありましたが、猛暑の中、一人も体調を崩すことなく無事に終わることができ、充実した一日になりました。(齊藤特派員)

▼お城のように見えるのが、遊覧船エスポール。





第16回JAさっぽろ親睦パークゴルフ大会 新琴似地区が5連覇を達成！



▲みごと5連覇を達成した新琴似地区の皆さん。

団体優勝には、新琴似地区が輝き、5年連続という快挙を達成しました。個人の部では、例年どおりハイレベルな戦いが繰り広げられ、男性の部では、2年連続、北札幌地区の森田芳文さんが、女性の部では、手稲地区の千葉芳子さんが優勝を飾りました。また、ホールインワン賞は4名の方が達成しました。

競技終了後の表彰式では、団体・個人の上位入賞、飛賞、ホールインワン賞の表彰が行なわれ、入賞者が読み上げられる度に会場は温かい拍手と歓声に包まれました。

7月12日（水）、第16回JAさっぽろ親睦パークゴルフ大会を開催しました。

今年は、えべつ角山パークランドを会場に、組合員132名（男性92名、女性40名）の方にご参加いただきました。当日は天候が心配されたものの、大会終了まで雨に当たることもなく、参加者の皆さんは日頃の練習の成果を發揮すべく、ラウンドに臨んでいました。



▲個人の部優勝の森田さん(右)と千葉さん(左)。



〈大会成績〉

| | | | |
|------------------|-------------|-------------|---------|
| 団体の部 | 優勝 | 新琴似地区 | スコア 773 |
| | 準優勝 | 手稲地区 | スコア 777 |
| | 第3位 | 北札幌地区 | スコア 788 |
| 個人の部 (男性) | 優勝 | 森田 芳文 (北札幌) | スコア 103 |
| | 準優勝 | 福田 廣一 (手稲) | スコア 105 |
| | 第3位 | 坂田 力男 (新琴似) | スコア 106 |
| 個人の部 (女性) | 優勝 | 千葉 芳子 (手稲) | スコア 106 |
| | 準優勝 | 中山 米子 (手稲) | スコア 112 |
| | 第3位 | 道下 玲子 (厚別) | スコア 114 |
| ホールインワン賞 (4名) | 安達 隆志 (新琴似) | 道下 玲子 (厚別) | |
| | 加藤 忠司 (白石) | 山坂 隆二 (北札幌) | |

(敬称略)

「Lカレッジ」

「認知症サポーター養成講座」

～ Lady (女性) が Link (つながり) を持って Life (生活) について Liberty (自由) に Learn (学ぶ) ところ～

6月20日(火)、Lカレッジ第2回講座では、認知症について学び、理解を深める「認知症サポーター養成講座」を行ないました。札幌市西区第1地域包括支援センターから社会福祉士の菅原有里さんと山中繭美さんを講師に招き、認知症の症状や認知症の方との接し方などについて解説いただきました。講座終了後には、認知症サポーターの証として受講生にオレンジリングが手渡されました。



▲オレンジリングを付けて。「認知症サポーターです!」

▶講師を務めていただいた、菅原先生(左)と山中先生(右)。



厚生労働省の推計では、認知症患者は2025年には700万人を超え、65歳以上の高齢者のうち、約5人に1人が認知症に罹患するとされており、超高齢社会につき進む日本にとって最重要課題の一つになっています。

菅原先生は、「特別なことではなく、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かい目で見守ることが認知症サポーターとしてのスタートです」と呼びかけていました。また、オレンジリングを受け取った受講生の一人は「講座を受ける前と後では認知症への認識が変わった。介護の仕事をしているが、忙しいことを理由に話しを聞くこともあまりしていなかった。年をとっても話を聞いてあげることが大切だと思った」と話し、認知症への理解を深めました。



▲受講生同士がさらに親睦を深めるため、クイズ大会とお弁当を囲んだ昼食会を行ないました。



今回の「^え得るカレッジ」

～JAさっぽろが行なう食農体験学習～

JAさっぽろが行なう、1統括支店1協同活動を中心とした子ども達へのさまざまな食農体験学習を紹介。JAが農畜産物の生産者を応援すると同時に、農業や食の大切さを地域の人に広める取り組みを行なっていることを解説しました。

Lカレッジ交流企画「さくらんぼ狩り」を実施しました!

7月22日(土)、平成26年にLカレッジが開講して以来初めて、第1期生からの卒業生も参加可能な、受講生交流企画「さくらんぼ狩り」を南区の田中果樹園を会場に行ないました。

すでにLカレッジを卒業されたOBの方から、現役受講生まで広く募集を行ない、家族や友達を誘っての参加もOK!ということで、総勢43名の方にご参加いただきました。

当日は、たわわに実った真っ赤なさくらんぼをたくさん食べて大満足!豪華景品をかけて、100gのさくらんぼの量を当てるクイズ大会も行なわれ、参加者は親睦を深めながら楽しんでいました。



▶子ども達も一緒に楽しみました。



次世代の意見を取り入れた賃貸住宅

施主 沼田 初太郎さん（篠路支店組合員）



〈施設の概要〉メゾネットタイプ

敷地面積：1250.96㎡

延床面積：881.96㎡

構造規模・木造2階建

(1棟3戸および1棟2戸

合計 4棟10戸)

間 取：全共通 3LDK

設 備・プロパンガス(エコジョーズ)、

堆雪スペース

駐車場2台(内1台カーポート)他

資産活用のはじまり

この辺は、JR篠路駅のほど近くにあり利便性も良い自然に恵まれた地域です。もともとは玉葱畑などの農業地域でしたが、1970年代後半から宅地化が急速に進み駅周辺はほぼ住宅地となりました。人口の増加により貸家の需要も高まり、10数棟の貸家を建てたのが資産活用のはじまりです。当時は、建物の基礎はほとんど自分で作っていたので大変苦労した思い出があります。



▲今回お話を伺った沼田さん。

今回の事業に至った経緯

その貸家も築後40年が経過し老朽化も激しく維持・管理が難しくなってきたので、建替について家族やJAに相談しました。幸いにも貸家に長年入居されていた方々からご理解いただき、円満に退去してもらえたので、今回の事業をスムーズに行なうことが出来ました。

施設のこだわり

子供や孫への将来の資産承継を見据えて、次世代に残せる建物を建設したいと考えていました。今回の事業では、いずれ受け継いでいく子供や孫たちも業者との打合せに参加し、間取りや、内装、設備などより良い住まいにするため、熱心に話し合いを重ねました。

雪の多い地区であることから、入居者の雪下ろしの負担を軽減するため駐車場1台分にカーポートを設置するなど、この地に育った家族みんなの経験と想いを込めた建物が完成したと思います。

アパート名「パテル」に込めた想い

アパート名の「パテル」は、「新しい故郷（造語）」という意味で、孫が一生懸命考えたものです。家族の想いをしっかりと詰め込み命名してくれたので大変嬉しく満足しています。

10戸の新規募集という事もあり、入居者が決まるまでは心配もありましたが、建物引渡しの時には全ての入居者が決まっていたのでとても安心しました。入居者からも「住み心地の良さに満足しています」との喜びの声を聞き、家族みんなで創意工夫を凝らしながらこの事業に取り組んでよかったと思っています。

お忙しい中、取材にご協力いただきました沼田さん、誠にありがとうございました。

JAさっぽろでは、資産管理事業を通じて組合員皆さまのお役に立てるよう、様々な提案・相談・サポートを行っております。資産形成に関するご相談は、不動産プラザ店までお気軽にご連絡ください。

JAさっぽろ青年部 農産物即売会 2017

JAさっぽろ青年部(平賀 農 部長)では、今年も農業PR事業として、下記2つのイベントで、農産物の直売を行ないます。

丹精込めた自慢のラインナップで地産地消と札幌の農業を大いにPRいたします。皆さまのお越しをお待ちしております。

「北のめぐみ愛食フェア」

開催日時:10月10日(火)・11日(水)

午前10時～

場 所:道庁赤れんが前広場



さとらんど「たまねぎフェスタ」

開催日時:9月23日(土・祝)・24日(日)

午前9時～ ※売切れ次第終了

場 所:サッポロさとらんど 交流館
(札幌市東区丘珠町519番地1)
※第6駐車場をご利用下さい。



伝

言

板

JAバンク北海道窓口セールスコンクール 北札幌支店 甲山職員が優勝!

「第2回JAバンク北海道窓口セールスコンクール」が、5月13日(土)プレミアムホテルTSUBAKI札幌にて開催され、北札幌支店の甲山美由紀職員が全道優勝に輝きました。



「JAバンク窓口セールスコンクール」は、窓口職員の情報収集力や提案力のスキルアップを目的として接客技術を競う大会で、全道各地区の予選を勝ち抜いた窓口職員16名が全道大会へと駒を進めました。

甲山職員は「年金指定替部門」に出場し、審査員・各出場者の応援者など約200名あまりが見つめる中、終始落ち着いた対応と自然な笑顔で出番を終えました。日頃からの窓口対応と努力の成果を存分に発揮した結果、みごと頂点に立ち優勝という栄光を手に入れました。甲山職員には、JA北海道信連よりトロフィーが贈られ、応援に駆けつけた同支店の職員とともに喜びを分かち合っていました。



営業部 藤野職員 信用事業業務検定試験 成績優秀者で表彰

平成28年度にJAバンク中央アカデミーが実施した「信用事業業務検定試験」において優秀な成績を収めたとして、本店営業部の藤野友日職員がJA北海道信連より表彰を受けました。

藤野職員が受験したのは、信用事業基礎の部で、信用事業に携わる職員に必要な基礎知識などが問われます。2,000名ほどの受験者の中で、藤野職員は全道1位、全国では4位という輝かしい成績を収め、優秀賞としてJA北海道信連から表彰状と記念品が贈呈されました。



▲藤田組合長から表彰状を受け取る藤野職員。

理事会だより

◆第三回定例理事会

平成二十九年六月二十八日（水）午後一時より本店役員会議室において第三回定例理事会が開催された。

●協議事項

一、平成二十八年度決算監事監査回答書（案）について

平成二十八年度定期（決算）監査で指摘された、改善を要する事項に対する回答内容が説明され、可決決定。

二、地区運営協力委員等の地区定数変更について

西町地区一名の地区委員が地区の構成変更に伴い増員される事の内容が説明され、可決決定。

●報告事項

一、地区別懇談会での質問・意見等の報告

二、不良債権経過報告

三、五月末財務状況報告

四、五月末組合員加入・脱退状況および未済持分譲渡報告

五、六月の動静と七月の予定について（閉会・午後一時五十分）

◆第二回臨時理事会
平成二十九年六月三十日（金）午後五時より共済ビル八階会議室において第二回臨時理事会が開催された。

●監事会報告事項
一、代表監事および常勤監事の決定について

任期満了に伴い、監事会において代表監事および常勤監事の互選を行なった結果、代表監事に宮本二三男氏、常勤監事に森寿幸氏が決定したことを報告。

●協議事項

一、組合長、副組合長、専務、常務の決定について

第十九回通常総代会において（新）理事者が決定されたことから、執行部協議等により、組合長に藤田範彦氏（第七選任区、厚別地区）、副組合長に軽部幹夫氏（第九選任区、豊平地区）、専務には砂川昌勝氏（学識経験者）、常務には土田孝夫氏（学識経験者）および水嶋仁光氏（学識経験者）の三名の学識経験者で専務理事・常務理事を執行することが提案され、可決決定。

二、代表理事の決定について

代表理事は、組織代表者である藤田範彦氏と軽部幹夫氏の二名としたい旨が説明され、可決決定。

三、専務理事および常務理事の担当決定について

専務理事は砂川理事が担当し、所轄部署は内部監査室、経営企画室、総務部、人事部、とする。また、常務理事二名については、土田理事と水嶋理事が担当し、所轄部署は金融部、融資審査部、共済部、本店営業部を水嶋常務理事が担当、相談部、経済部を土田常務理事が担当する旨が提案され、可決決定。

四、組合長職務代理順位並びに理事会招集代理者順位について

定款三十五条第四～六項の規定による組合長職務代理順位、および定款第

五十六條第二項の規定による理事会招集順位が説明され、可決決定。

五、常勤理事にかかる事務引継の立会人の指名について

吉田前副組合長、一條前専務理事の退任、砂川理事の職務内容変更に伴う事務引継の立会人として、土田常務理事を指名したい旨が提案され、可決決定。（閉会・午後五時二十二分）

算係

JAさっぽろDATA

（平成 29 年 6 月末業務実績） （平成 29 年 5 月末業務実績）

| | | | | |
|---------|-------------------|----------|-------------------|----------|
| 組合員数 | 正組合員 | 3,847 名 | 正組合員 | 3,851 名 |
| | 准組合員 | 30,259 名 | 准組合員 | 30,093 名 |
| | 合計 | 34,106 名 | 合計 | 33,944 名 |
| 出資金残高 | 51 億 6 千 6 百万円 | | 51 億 3 千 4 百万円 | |
| 販売取扱高 | 4 億 3 千 3 百万円 | | 2 億 7 千 3 百万円 | |
| 購買供給高 | 3 億 9 千 7 百万円 | | 2 億 7 千万円 | |
| 貯金残高 | 3,057 億 4 千 8 百万円 | | 3,015 億 4 千 3 百万円 | |
| 融資残高 | 890 億 1 千 9 百万円 | | 889 億 6 千 8 百万円 | |
| 共済保有高 | 6,060 億 1 千 8 百万円 | | 6,067 億 6 千 1 百万円 | |
| 施設建設取扱高 | 4 千 3 百万円 | | 4 千 3 百万円 | |
| 管理受託戸数 | 4,109 戸 | | 4,107 戸 | |

※出資金残高については、処分未済持分を控除した額です。

おくやみ

下記の正組合員の方が逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。（6月16日～7月15日）

| 支店名 | 氏名 | 享年 | 月日 |
|------|-----------|------|------|
| 菊水元町 | 伊藤 正和さん | 71 才 | 6/19 |
| 白石 | 桑原 広吉さん | 95 才 | 6/24 |
| 清田 | 紙 澄さん | 93 才 | 6/18 |
| 篠路 | 中村 松蔵さん | 91 才 | 7/7 |
| 新琴似 | 小野 イサさん | 82 才 | 7/11 |
| 丘珠 | 五十嵐 タマ子さん | 89 才 | 6/16 |



吉田照一さんに 全国農業協同組合中央会から感謝状



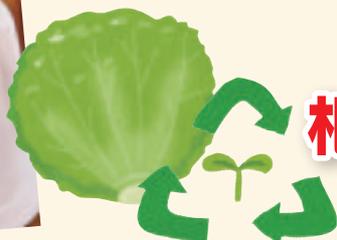
6月20日、前代表理事副組合長で豊平地区組合員の吉田照一さんに全国農業協同組合中央会より農協功績者感謝状が贈られました。

全国農業協同組合中央会農協功績者感謝状は、常勤役員としての要職にあり系統組合運動の実践を通じ、地域の農業・組合経営の安定確立のため顕著な功績のあった方々に対して、JA北海道中央会会長が推薦し、全国農業協同組合中央会会長より授与されるものです。

同日行なわれたJA北海道中央会の第88回臨時総会内で表彰式が行なわれ、全道から集まった大勢の農業者や関係者が見守る中、吉田さんへ感謝状が授与されました。



▲表彰式で壇上へ上がり感謝状を授与された吉田さん。今回、全道で3名のみが受賞となりました。



フードリサイクル堆肥を使用 札幌産レタス、学校給食に提供

札幌市とJAさっぽろなどが連携して行なう「さっぽろ学校給食フードリサイクル」の一環として、フードリサイクル堆肥を使用して栽培した札幌産レタスの学校給食への提供が始まりました。

平成18年度から続くこの取り組みは、学校給食を作る過程で発生する調理くずや残食などの生ゴミを堆肥化し、その堆肥を利用して栽培した作物を学校給食の食材に用いて子ども達が食するという、食物を循環させる仕組みです。単に学校給食の調理くずや残食のリサイクルだけではなく、食や環境を考え、食べ物を大切にする子どもを育てることを目指しています。



▲4年生の教室では、栄養教諭からフードリサイクルの仕組みや食べ物の大切さを学びました。

提供されるレタスは主に篠路地区で栽培されたもので、およそ5,400kgの使用を予定しており、7月と9月に期間を分け、市内全ての公立の小中学校の給食で順次使用されます。

提供初日となった7月3日(月)、豊平区の旭小学校では、「レタス入り焼豚チャーハン」が提供され、児童は美味しそうに給食をほおぼっていました。4年生の児童は「給食を残してもリサイクルできるけど、残したら農家の人や給食を作った人が悲しむと思うから、残さず食べる」と話していました。

フードリサイクル堆肥を使用し栽培した野菜の提供は、8月から9月にかけてトウモロコシ、11月にはタマネギ(さつおう)も予定しています。

エダマメ「サッポロミドリ」の出前授業 小学生が種まきを体験

当JAでは雪印種苗株式会社と連携し、市内小学校で札幌伝統野菜の一つ「サッポロミドリ(エダマメ)」を児童が育てる出前授業を行なっています。食育推進を目的に昨年から始めたもので、清田区の平岡公園小学校、厚別区のみじの丘小学校、南区の中ノ沢小学校の3校に経済センターの職員も出向き、児童が植えから収穫までを行ないます。

6月19日(月)の平岡公園小学校では、児童がサッポロミドリの歴史や特徴・種から芽が出る条件などを学んだ後、全員で校内の畑に植えを行ないました。一人10粒の種が配られ、児童は畑に穴を開けて種を落とすと、やさしく土をかぶせていました。体験した児童は、「エダマメが好きだから収穫が楽しみ。自分の植えた場所を覚えておく」と笑顔で話していました。



◀雪印種苗㈱の原子さんによる、クイズ形式の楽しい授業。(平岡公園小学校)



▶もみじの丘小学校では、種植えの後に防虫ネットも児童が自分でかけました。



雪印種苗㈱の社員で講師を務めた原子恵一さんは「夏休み明けには、収穫できるようになります。みんなには、成長の様子を観察してもらいたい。芽が出た日と小さな花が咲いた日を後で教えてください」と呼びかけていました。

8月の終わり頃からは、それぞれの小学校で収穫体験も実施されます。

サッポロミドリは、雪印種苗㈱が開発を進め、1974年に種苗名称登録された、白毛の早生種。甘味があり、粒が大きくびっしりとなる見映えの良さが特徴で、現在は、清田区と南区の10戸ほどの農家で生産されています。今年は1.5トン程度の出荷を見込んでおり、昨年からの試験的に清田区の一部の小学校の学校給食にも使用されています。

ポーラスターを使ったスナッフルスのキッシュ 大好評につき、販売期間延長!!

ブランドほうれん草「ポーラスター」を使用した、洋菓子店ペイストリースナッフルス さっぽろ清田店の「ほうれん草のキッシュ」(※詳しくは「虹の大樹」7月号をご覧ください。)が大好評につき、8月31日(木)まで販売期間を延長しました。

ポーラスターの旨味を存分に感じられる逸品で、店内のカフェスペースはもちろん、テイクアウトも可能です。お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。



ペイストリースナッフルス さっぽろ清田店
札幌市清田区清田2条3丁目10-55
☎(011) 376-0336



スタントマンが交通事故を実演！ 高校生に自転車マナーの徹底呼びかける

ＪＡ共済連北海道と北海道警察、札幌市の主催で行なう「スケアード・ストレイト技法による自転車交通安全教室」が、7月11日(火)に丘珠高校、13日(木)に手稲高校で開催され、自転車のマナー違反における危険性を全校生徒に呼びかけました。

スケアード・ストレイト技法とは、交通事故を現実に近い状態で再現することにより危険性を疑似体験させる技法のこと。今回の交通安全教室では、「見通しの悪い交差点での事故」や「横断歩道での事故」といった様々な場面を想定した事故をスタントマンが実演しました。臨場感溢れるスタントを間近で見た生徒達は、交通事故の怖さを再確認した様子でした。



ＪＡさっぽろ野球部 石狩管内ＪＡ野球大会 たくさんのご声援、ありがとうございました！



▲大勢の方が応援に駆けつけました。

第59回石狩管内ＪＡ野球大会が7月8日(土)・9日(日)の2日間、石狩市青葉公園野球場にて開催され、ＪＡさっぽろ野球部(斉藤竜太監督:新琴似支店)を含む、管内5チームが熱戦を繰り広げました。

ＪＡさっぽろ野球部は1回戦【対 ＪＡ道央】、序盤にはホームランも飛び出すなど着実に得点を重ね健闘しましたが、ＪＡ道央も1歩も譲らず、延長戦にもつれ込んだ結果、3-4で惜しくも敗れました。

当日、試合会場に足を運んでいただいた組合員・役職員の皆さま、たくさんのご声援をありがとうございました。今後ともＪＡさっぽろ野球部をよろしく願いいたします。



さとらんど 8月21日(月)から受付開始!

薬膳料理

季節の変わり目、野菜で薬膳。

日時：9月2日(土)
10時～12時30分
場所：さとらんどセンター
定員：16名
費用：1,300円

羊毛フェルト講座

羊毛フェルトでポーチ作り

日時：9月8日(金)
10時～12時
場所：さとらんどセンター
定員：16名
費用：1,300円

ヘルシー野菜スイーツ講座

敬老の日に合わせてお菓子作り

日時：9月14日(木) 10時～12時
場所：さとらんどセンター
定員：16人
費用：1,300円



※この他にもさまざまな講座を行なっております。申込みは、さとらんどセンターまでTELまたは直接受付ください。

【お問い合わせ】サッポロさとらんど 〒007-0880 札幌市東区丘珠町584番地2 TEL(011)787-0223